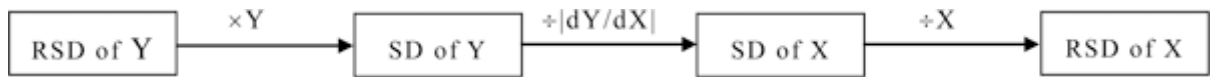


3. 4. 検出限界を求めるための条件

前項の議論により、検出限界を求めるためには、連続曲線としての濃度の精度プロファイルが必要であることが分かる。しかし、精度プロファイルは、理論的あるいは実験的な求めやすさの点から、まずは測定値に関して表されることが多い。すると、測定値の精度プロファイルから濃度の精度プロファイルに変換する必要がある。これは、

測定値の RSD → 測定値の SD → 濃度の SD → 濃度の RSD

の順である。図で示すと



となる。ここで重要なことは、「測定値の SD → 濃度の SD」の変換には検量線の傾き（微分）を使うことであるが、これは既に、II.4 で説明した。

これより、連続な濃度の精度プロファイルを得るためには、

- 連続な曲線であり、微分可能である検量線；
- 連続な曲線である測定値の精度プロファイル；

が必要であることが分かる。